

2025 年 12 月 10 日

各位

会社名：ウインテスト株式会社
(コード：6721 東証スタンダード市場)
代表者名：代表取締役 姜 輝
問合わせ先：管理本部長 鎌田 文明
(TEL：045-317-7888)

「SEMICON Japan 2025」に出展のお知らせ

当社は 12 月 17 日～19 日に東京都江東区有明の東京ビッグサイトで開催される「SEMICON Japan 2025」に出展いたします。(西ホール 3 階 ブース番号: W3019)

当社ブースでは最新の AI 等に使用される SoC などに向けたハイエンド高速ロジック IC テスタの紹介をします。また、最近お客様からのご要望が増えた、新製品の高電圧オプションを搭載したロジック IC テスタなど、2026 年の半導体市場に備えた様々な製品を展示・紹介します。

記

■主な出展製品

- ・WTS-688 MAX1280 ピン 研究開発用ハイエンド高速ロジック IC テスタ (新製品)
- ・WTS-3000 MAX256 ピン 小型汎用ロジック IC テスタ、高電圧オプション (新開発)
- ・WTS-677 MAX512 ピン 多ピン汎用ロジック IC テスタ

■ウインテストの AI 市場への取り組み

2024 年前後から本格化した AI ブームは加速を続け、現在は加速成長フェーズへと突入しています。2026 年には、さらなる飛躍的な進化が見込まれています。

一方で、AI サーバの膨大な電力需要が課題となっており、電力供給網がデータセンターの増設スピードに追いつかず、稼働開始が遅れるケースも確認されておりより低消費電力で稼働する新しいデバイスの開発も急ピッチです。

AI 向け半導体には、GPU チップを中心として、周辺のハイエンドロジックデバイスが不可欠です。これらの検査には、従来、高額かつ大規模な専用 SoC (System on Chip) 検査装置が用いられてきました。

当社、SoC 検査装置に求められる機能を精選し、より効率的な SoC チップ検査を実現する新たなアプローチを提案します。まず、ハイエンド高速ロジック IC テスタを開発することで、AI 向け半導体の検査装置市場に参入し、今後更に量産向け検査装置へ展開してまいります。

以上

研究開発用 Soc ハイエンド高速ロジック IC テスタ (新製品)



高速 IO 1.6Gbps, 1280pin
PPS $\pm 10V \sim \pm 40V / \pm 10\mu A \sim \pm 1000mA$, 128pin

高電圧オプション搭載 (新開発品) WTS-677 (左) / WTS-3000 (右)



IO 50MHz/100MHz, 256pin(WTS-3000), 512pin(WTS-677)
VPS $\pm 10V / \pm 300mA$, 32pin(WTS-3000), 64pin(WTS-677)
HPMU(High Voltage Programmable Measurement Unit) $-8V \sim +16V / \pm 30mA$ 1台/64pin
BPS(Bias Power Supply) $-8V \sim +45V / \pm 200mA$ (VFのみ) 1台/64pin